



平成30年度特別展

相双の化石大集合!!

平成31年(2019) 1/19 土 ▶ 3/24 日



協力：相馬中村層群研究会

南相馬市博物館

〒975-0051 福島県南相馬市原町区牛来字出口194番地
TEL 0244-23-6421 FAX 0244-24-6933
URL <https://www.city.minamisoma.lg.jp/>

【開館時間】午前9時～午後4時45分(最終入館は午後4時まで)

【休館日】毎週月曜日(2月11日(月/祝)は開館、翌日休館)

【観覧料】一般300円(250円) 高校生200円(150円)

小中学生100円(80円) ()は20名以上の団体割引料金です

南相馬市内(飯館村も含む)に居住・通学する小中高生は無料です。障がい者の方は無料です(手帳をご提示ください)。

左上より右へ「レプトフロエウム [リンボク] (平宗雄)」「キルトスピリファラ・アイノサウエンシス (福島県立博物館)」「リングアフィリップシア (八巻安夫)」「リソストロション・ソーマエンセ (平宗雄)」「竜脚類の歯 (八巻安夫)」「ダルマシセラス・ムネオイ (平宗雄)」「ニルソニオクレイダス・タイラエ (平宗雄)」「獣脚類の足跡 (八巻安夫)」「サブディコトモセラス・チサトイ (八巻安夫)」「ミオフォレラ (南相馬市博物館)」「アジアントブレリス (平宗雄)」「アウラコスフィンクトイデス・タイライ (八巻安夫)」「ニルソニオクレイダス・ジャボニカス (平宗雄)」「プラノプロソボン・カシマエンシス (平宗雄)」「サメガレイ (荒好)」「大型ネコ科の歯 (平宗雄)」「ギルモアオットセイの下あご (荒好)」「イタヤガイのなかま (南相馬市博物館)」

※「」は標本名・()は採集者・所有者名

古生代

中生代

新生代

相双地方の化石が大集合！

福島県浜通り地方の大部分を占める相双（相馬・双葉）地方は、古生代～中生代～新生代すべての地質年代の地層が分布し、古生代の三葉虫、中生代の恐竜・アンモナイト、新生代のクジラをはじめとする哺乳類など、あらゆる時代を代表する化石が見つかります。

特に南相馬市は一つのまちの中ですべての地質年代の化石が採れる大変恵まれた地域で、近年は市内外の研究者によって、新種の腕足類、ソテツ類、アンモナイト、カニ、二枚貝などが発見・報告され、“化石の宝庫”として注目される地域となっています。

今回の展示では、南相馬市を中心とした相双地方の化石が大集合します。数億年にもわたる地域の太古の生きものたちのすがたを、一挙にご覧ください。

古生代 (5億4100万年～2億5190万年前)

海の無脊椎動物が栄え、後半では魚類・両生類が進化・繁栄し、陸上では藻類・シダ類などの植物が栄えた時代。

南相馬市の合ノ沢層（デボン紀後期）は、福島県最古の化石が見つかることで知られ、近年新種の腕足類「キルトスピリファー・アイノサウエンシス」が発見されました。



キルトスピリファー・アイノサウエンシス (腕足類)
デボン紀 合ノ沢層
南相馬市鹿島区 福島県立博物館蔵



リングアフィリップシア (三葉虫)
石炭紀 真野層
南相馬市鹿島区 八巻安夫氏採取

中生代 (2億5190万年～6600万年前)

いわゆる「恐竜時代」。陸上では恐竜や裸子植物が栄え、海ではアンモナイトなどが繁栄していました。

南相馬市～相馬市に分布する「相馬中村層群（ジュラ紀中期～白亜紀初期）」からは、新種のソテツ、アンモナイト、カニのほか恐竜の足跡など貴重な化石が発見されています。



▲ニルソニオクレイダス・タイラエ (ソテツ類)
ジュラ紀 枳窪層 南相馬市鹿島区 平宗雄氏採取



◀恐竜の足跡
ジュラ紀 枳窪層
南相馬市原町区 八巻安夫氏採取



◀ダルマシセラス・ムネオイ (アンモナイト)
白亜紀 小山田層
南相馬市鹿島区 平宗雄氏採取

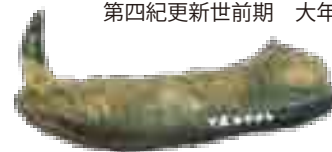
新生代 (6600万年～現代)

絶滅した恐竜に替わって哺乳類が繁栄した時代。

相双地区はクジラ・オットセイ等の海生哺乳類のほか、富岡町からは大型ネコ科、ゾウ、シカなど陸上哺乳類の化石も発見されています。



◀大型ネコ科の切歯
第四紀更新世前期
大年寺層 富岡町 平宗雄氏採取



ギルモアオットセイの下あご
第四紀更新世前期 大年寺層 富岡町 荒好氏採集



◀ヒゲクジラ類の脊椎
第三紀鮮新世
大年寺層
南相馬市原町区 当館蔵